

## 新島の火山活動解説資料（平成 28 年 4 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2）

式根遠望カメラ（丹後山の西南西約 4 km）による観測では、丹後山山頂部に噴気は認められません。

・地震や微動の発生状況（図 3 - 、図 4）

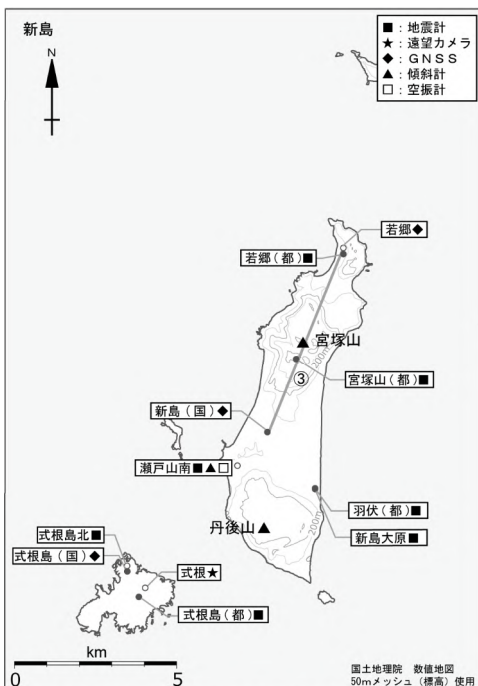
27 日 15 時 45 分に新島付近を震源とするマグニチュード（M）2.6<sup>1)</sup>の地震が発生し、新島村で最大震度 1 を観測しましたが、新島付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図 1、図 3 - ）

GNSS<sup>2)</sup>連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) マグニチュード（M）は地震の規模をあらわします。この値は暫定値で、後日変更することがあります。

2) GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
（国）：国土地理院、（都）：東京都

図 1 新島 観測点配置図

GNSS 基線は図 3 の に対応しています。

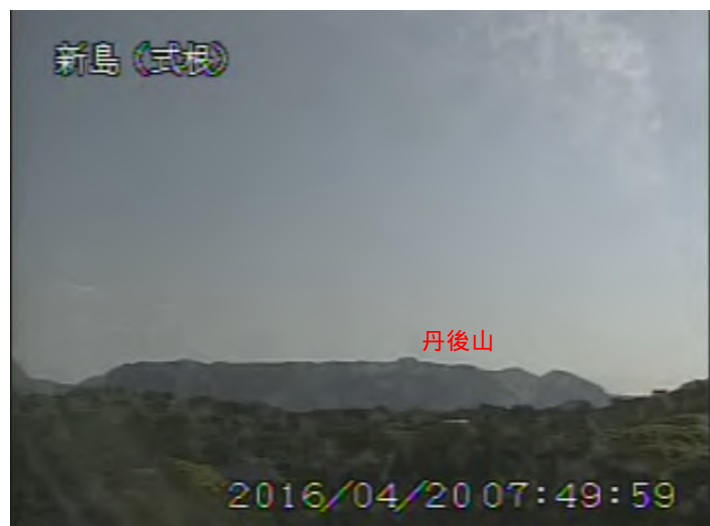


図 2 新島 丹後山山頂部の状況  
（4 月 20 日、式根遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 28 年 5 月分）は平成 28 年 6 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

【計数基準の変遷】	
A型地震	
2010年10月1日(観測開始)～	瀬戸山南から半径8km、深さ20km以内
BH型地震	
初期 2010年8月2日～2013年9月30日	瀬戸山南振幅0.8 $\mu$ m/s以上
変更 2013年10月1日～	瀬戸山南振幅4.0 $\mu$ m/s以上

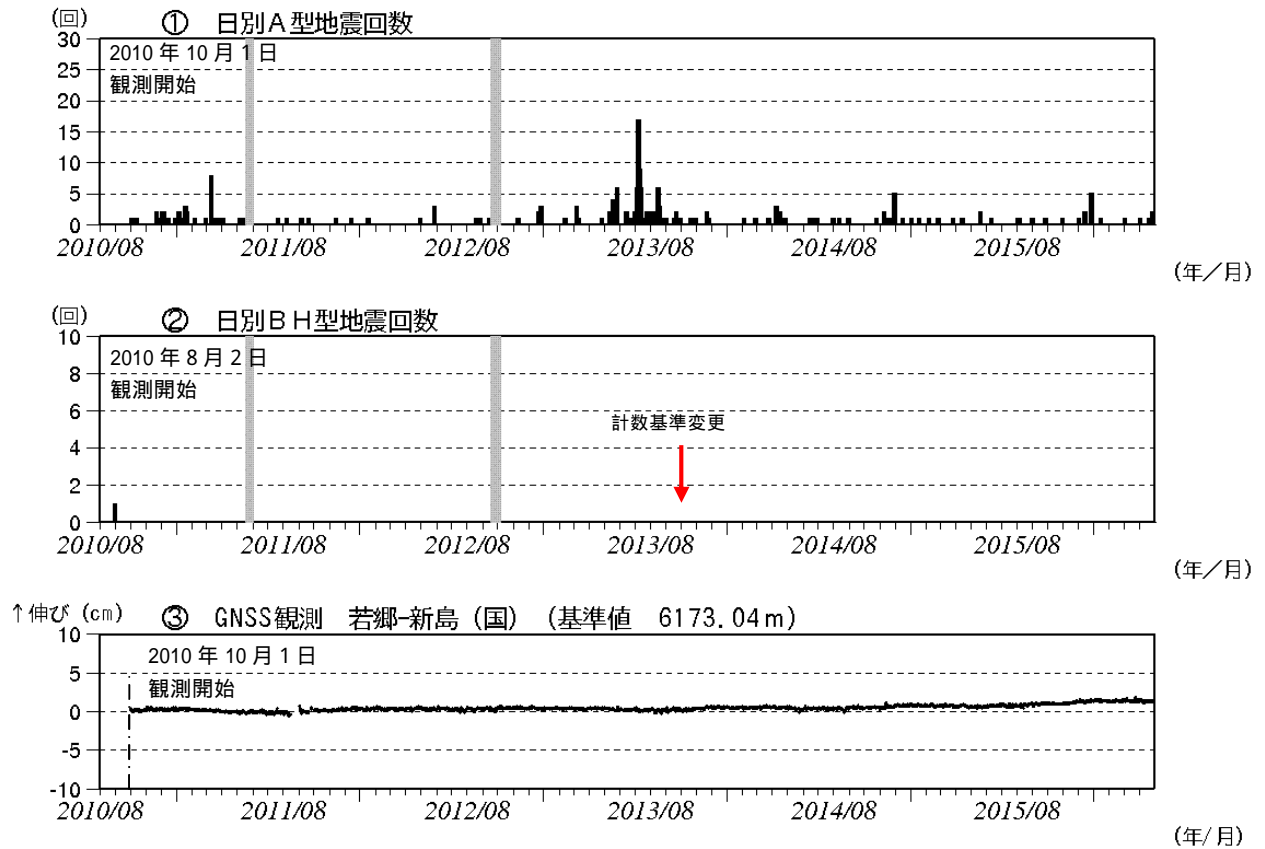


図3 新島 火山活動経過図(2010年8月2日～2016年4月30日)

新島周辺の日別地震回数

・ 図の灰色部分は機器障害のため欠測を示します。

GNSS連続観測による基線長変化(国): 国土地理院

・ は図1のGNSS基線に対応しています。

・ グラフの空白部分は欠測期間を示します。

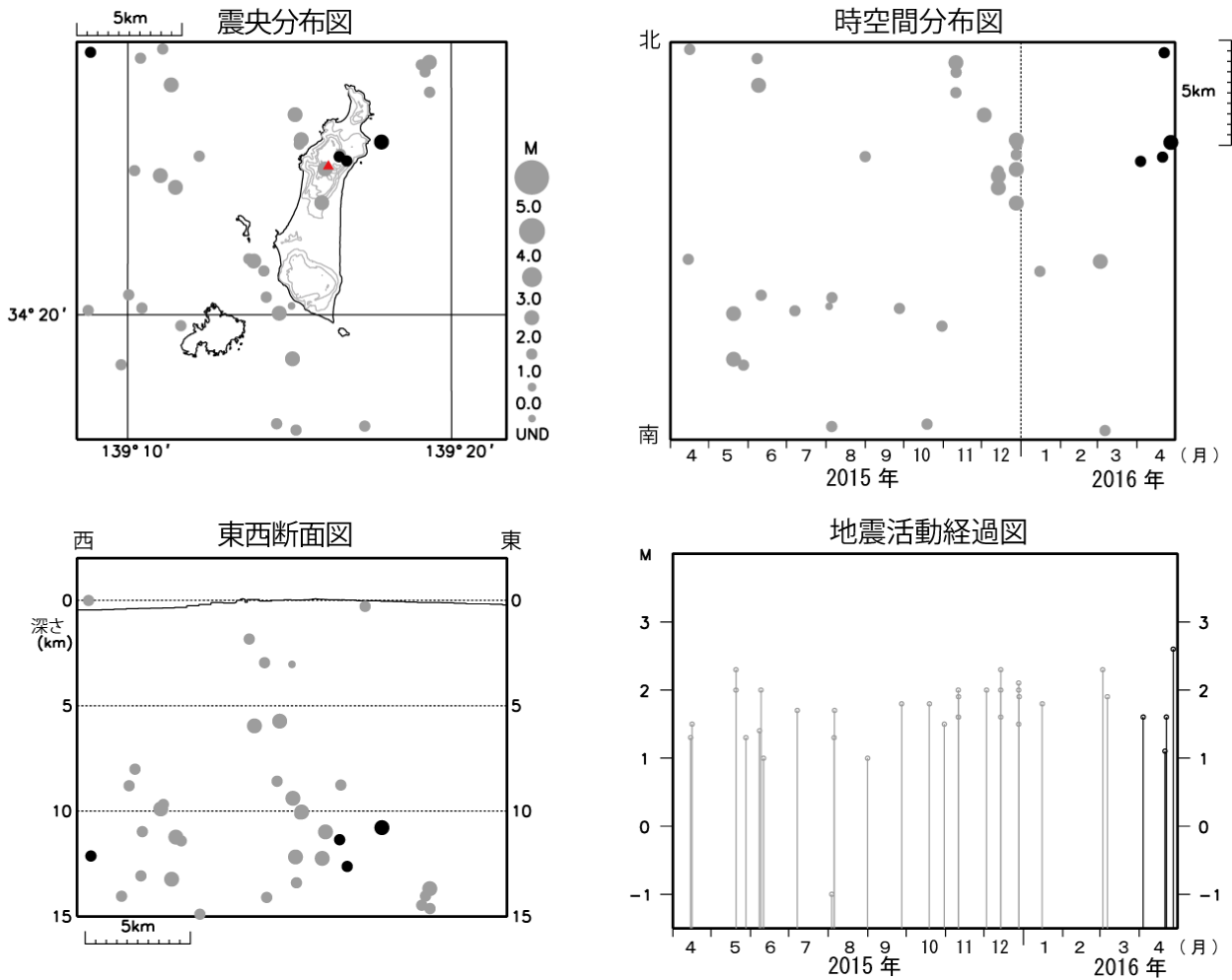


図 4 新島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2015 年 4 月 1 日～2016 年 4 月 30 日）

：2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日      ：2016 年 4 月 1 日～4 月 30 日

- ・ M（マグニチュード）は地震の規模を表します。
- ・ 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
- ・ 計数対象（瀬戸山南から半径 8 km、深さ 20km 以内）以外の地震が含まれるため、図 3 - の日別 A 型地震回数とは異なります。